

ウムチョ ムウイーザ通信 No. 21

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

ウムチョムウイーザ学園を訪問して

カンベンガ・マリールイズより



2008年7月17日から8月3日まで、ウムチョムウイーザ学園を訪問してきましたので報告します。

1 ウムチョムウイーザ学園の終業式に参加

7月19日、2学期の終業式に参加することができました。

終業式には親も参加し、子どもの通知票を受け取り、成績や学費の納入状況など個別に懇談する日になっています。

また、青年海外協力隊隊員として、2006年10月から当学園に派遣されていた隊員が9月に帰国することになりました。当学園の幼児教育の向上に尽くされ広島から寄付されたピアノも演奏し充分子ども達を楽しませてくれました。きっと子ども達は感受性豊かな国際的な人間に成長されることでしょう。ぜひまた大きくなった子ども達に会いに来てほしいと思います。



2 ウムチョムウイーザ学園の教師・PTAとの話し合い

○ 教師との話し合いでは、昨年の6年生全員が中学校入試の国家試験に合格させたことに自信を深め、物価上昇がはげしく運営の厳しい中にも、夢を語ってくれました。

○ PTA会長・副会長とは、子どもの学習に対する意欲や学費を払っている親と払えない親との理解不足や学校運営とPTA組織との関わりについて質問が出ました。

3 ウムチョムウイーザ学園の校長との話し合い

中学校建設について話し合ってきました。現在周辺10km以内に中学校は存在せず、中学校が出来れば、卒業生全員を受け入れることが出来、その他に国家試験に合格した生徒も受け入れると同時に運営に関しては国の支援も期待できるとのことでした。

年内に申請がとおれば、2009年には現在の教室でまず開校し、2010年までには隣の敷地に最低3教室と男女別トイレを銀行の融資を受けて国の基準に合った教室、できれば2階建て12教室を建設したいとのことでした。

ルワンダで日本大使に出会い「民族・宗教を越えて和解出来る、変わるだけの法律はできた。後はそれに向かって行動できる人々を増やしていくことによって、ルワンダはきっと、平和な国になれると信じている」と力強い言葉をいただきました。

また今回、1994年に起きた大虐殺当時乳幼児だった女の子達が現在15歳～18歳に成長しており、家族全員が虐殺され孤児として親戚や国等の支援を受けて成長してきましたが、今またその子達の中にはトラウマを抱えながらいろいろな事情で妊娠してしまい、地域や学校からはじかれ子どもを抱えたままストリートチルドレンならぬストリート母子になり物乞いで生計を立てざるおえない少女達に出会いました。

中学校を建設し一人でも二人でもそういう子ども達を受け入れることができれば、母子共に支援して自立への道を歩ませたいと強く思いました。

これからも、子ども達の夢の実現のためにやれることを末永く続けてゆきたいと思います。ご理解のうえどうぞよろしくお願い申し上げます。

チャールズ校長より

2008 年 7 月 25 日現在の学費の納入状況の報告

単位:人 *時価換算による。単位:円

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年		
100%	12	13	13	15	26	29	30	23	11	172	1,179,743
その他	6	4	12	11	9	6	14	6	7	75	252,067
0%	5	5	8	17	7	16	13	7	8	86	0
合 計	23	22	33	43	42	51	57	36	26	333	1,431,810
予算額											2,284,038
不足金額(日本からの支援額)											852,228

ルワンダ政府は、新しい決断を下しました。それは、教育の現場では全国でフランス語の代わりに英語を使うそうです。私たちの学校もフランス語のシステムでしたので、これからは英語にきり変えなければなりません。現在の先生方も英語の指導を要求しています。英語で教えられる研修を求めています。2009 年 1 月 10 日まで研修を終えたいと望んでいます。それに答えていく為にはこれから以下の事に専念していきたいと思います。



A 小学校と幼稚園で英語の指導者を雇う事。政府も公立の先生方の研修をする予定です。学園では 11 月 12 月の休みに英語研修を行ないたいと思います。

*時価換算による。単位:円

項目	月	人数	費用
英語の指導者への報酬	2	1	53,681
教師の研修費	2	21	428,376
教材費			89,468
合 計			571,525

B 2009 年に中学校を開校し、小学 5 年生を 2 クラスにします。そのために、中学校に使う予定の教室が使えなくなってしまうので、そのために、2 部式(午前と午後)を計画しています。

教育委員会が学校を 3 回も訪問してくれました。そして、3 つに幼稚園・小学校・中学校を分けるように指導を受けました。別々の管理をするようにという指導でした。

だから、2 部式になったら助かります。それぞれに責任者をおくようにということでした。

小学校(7 時から13時まで) 中学校(13時から18時まで)

それを使いながら 2010 年までに、中学校単独の教室を完成させる方針です。そうすることによって、朝から勉強させる事が出来ます。



さらに、遊び場・男女別トイレ・図書室・コンピュータ指導等さまざまな指導を受けました。

特にこれからは、授業も英語で行われますので、英語の教材も必要となっています。いままでの持っているフランス語の教材が使えなくなるので、大変です。

これらの事に、急に変わった答えを見つけるには多額の予算が発生し、むずかしいかと思いますが、夢はかなうと信じてみなさまと共にがんばりたいと思います。



ルワンダ訪問記

平成20年9月15日 五十嵐喜美子

ルワンダキガリ空港、着陸の瞬間、すり鉢の様に表れてきた大地、これが千の丘。

平成20年9月1日から9月11日まで、オランダ、ベルギー、ルワンダの11日間の旅でした。

9月4日の夕方ルワンダ空港着、その後スーツケースを受け取るのに2時間あまりかかりました。スーツケースを受け取るのに待っている間、いろいろな人が空港に苦情を申し立てをしていました。しかし「すぐきます」の一言のみでした。空港に私を迎えに来てくれている方が、待っていると思うといただちの気持ちはおさまりませんでした。



ルワンダの空港におりた世界の人々が、快くルワンダにて過ごせるように国として、考えて欲しいです。

9月5日、ウムチョムウイーザ学園に行く途中、赤土にまみれ、裸足で物欲しさに近寄る子ども達、一方制服を身にまとい、友達と仲良く、通学する子ども達、この姿を見て、まだまだ教育は、行き届いていないと感じました。ルワンダ政府は、これから義務教育に力を入れるときいています。

国の発展と平和、本当に教育が根源となっていると痛感しました。

7歳くらいと思われる小さな子ども、水汲みをしたり、まきを運んだりと手伝いをしている。ひと家族が大人数で年寄りから赤ちゃんまで同居しているルワンダ。それぞれが、役割分担して笑顔あふれる家族愛にも触れました。今の日本が忘れかけている家族の愛がルワンダにはあり心癒される嬉しい思いでした。



ウムチョムウイーザの子ども達の澄んだ目、生き生きと日本の歌をうたう子ども達こんな素晴らしい子ども達に触れ合いながら成長を見ていけることは、素晴らしいことと実感してきました。

これといって何も出来ない私ですが、この感動を忘れず、自分なりにこれからもルワンダの教育を考える会として関わっていきたいと思います。ウムチョムウイーザのスタッフの方々には、本当にお世話になりありがとうございました。感動をくれた子ども達ありがとう。

ルワンダの子どもたちへ ルワンダフルクリスマスキャンペーン

ルワンダフルクリスマスキャンペーン期間：

12月1日～12月31日

ルワンダの子どもたちへの募金箱を設置していただける場所を募集します！！

箱は思い思いの箱を利用いただき、身近なところでの募金活動をお願いします。

連絡をいただければ設置場所への依頼文を送らせていただきます。

☆掲示板☆

インターネット募金も受付けております。ホームページをご覧ください。

☆各種振替口座番号のご案内です！☆

会費振込・寄付・募金…毎月の授業料を払えない子ども達のために、継続した寄付をお願いします。

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会



ソーラー発電…ソーラー発電機で、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座：02200-2-77634

加入者名：ルワンダ ソーラー発電P



事務局では、今回会費の納入状況をお知らせしますのでご確認をお願いします。また、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。（イベント開催時の半日でもOKです。）

〔編集後記〕

山口県からやってきた若い二人マシーとマーちゃんに、人を信じ笑顔で自分が出来ることを一步步、歩いていくことの大切さを教えられました。

競争力から共に創造する力を大切にはるかかなたの「ルワンダ」の子ども達に思いをはせたいと思います。



ルワンダの教育を考える会

理事長 高橋 啓子

副理事長 カベンガ・マリイズ

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org

NPO法人 ルワンダの教育を考える会 PRESENTS !!

8年間の感謝を込めて・・・

ルワンダDAY in ふくしま マウンテンマウスコンサート



日時 2008年10月4日（土）開場 13：30 開演 14：00

場所 郡山市富田西地域公民館（郡山市）

日時 2008年10月5日（日）開場 13：30 開演 14：00

場所 桜の聖母マリアンホール（福島市）

山口県周防大島出身の「マウンテンマウス」兄“中谷昌史”と妹“中谷愛美”の兄妹デュオは、福島の地に元気と思いやりを届けてくれました。

また、当日はたくさんのスタッフが活躍してくれました。お互いに忙しい日常をかかえている中で、ほとんど打ち合わせもなかったのですが、展示物担当・販売担当・当日券売り場・駐車場係等・・・チームワークで乗り切ることができました。これからも、よろしくお願いいたします。

アンケート結果

○第1部○

会のテーマソングと共にアフリカのルワンダ内戦から生き残ったマリールイズが、現在のルワンダの子ども達や学校の現状を語りました。

郡山



- ・上手な日本語で全部理解できました。
- ・いままで知らなかった事を知った。
- ・現地の子ども達の笑顔がすばらしい。
- ・大河原さんの歌が良かった。いい声ですね。
- ・ルイズさんのビデオの Presentation の方法がよかった。
“imagine”（想像してください）という提示の仕方が Simple で深い内容でした。英語も日本語もきれいなすばらしい文章でした。
- ・戦争中の人がかawaiiそうだった。

福島



- ・マリールイズさんの報告にはいつも感動します。
- ・明るい歌声が心に響いた。
- ・あたたかな空気が舞台と客席に流れ歌も共感しました。
- ・ホテルルワンダを子どもにも見せたいです。
- ・大河原伸さんの歌、ルイズさんの話、映像が良かったです。
- ・ルワンダの現状について、ルイズさんの話は説得力がありました。
- ・心がよく伝わった。
- ・学校の様子がわかった。
- ・ルイズさんのお話が最近のルワンダの状況が少し見えて良かったです。

○第2部○

マウンテンマウスコンサート



郡山



- ・参加型のコンサートでとても楽しかった。
- ・頑張っている二人に感動した。
- ・あたたかさをとても感じ感動しました。
- ・歌が楽しかった！
- ・とても明るくなってきた。
- ・明るい兄妹の歌、そして明るい斎藤さんの姿、とても良かったです。



福島



- ・マウンテンマウスの元気の良いトークと2人のハーモニーに心打たれました。
- ・きれいな歌声、メロディ、歌詞：身近なことを身近な言葉で
- ・地球の家族の主演—まさしく本当
- ・楽しいステージでした。人に感謝の気持ちが伝わる。
- ・あったかくて感動しました。笑顔こそ心の絆、斎藤さんもステキでした。
- ・何度もハンカチで目を押さえました。大事な人をもっと大切に
しなくてはと思いながら・・・
- ・会場と一体となっていてよかったです。
- ・参加者との会話がよかった。
- ・あたたかさにふれて元気になりました。

